

角膜移植の親族優先提供

改正臓器移植法の施行に伴い、親族に対して角膜（臓器）を優先的に提供したいという意思を書面により表示をすることができるようになりました。

【適応条件】

- ①親族優先提供の範囲は、1親等（配偶者※1、子及び父母※2）とする。
（※1 婚姻届けを提出している方 ※2 実の親子、特別養子縁組による養子及び養父母）
- ②本人（15歳以上の方）が角膜提供（臓器提供）の意思表示に併せて、親族提供の意思表示を書面により表示している。
- ③本人が死亡した時点において、提供を受けようとする親族は医師の診察を受けて待機患者として登

- 録されていないなければならない。
④医学的な条件（適合条件）を満たしている。

【留意事項】

- ①医学的な条件などにより移植の対象となる親族がない場合は、親族以外の方への移植が行われる。
- ②優先提供する親族の方を指定（名前を記載）した場合は、その方を含めた親族全体への優先提供意思として取り扱う。
- ③「〇〇さんだけにしか提供したくない」という提供先を限定する意思表示があった場合には、親族の方も含め、臓器提供が行われない。
- ④自殺した方からの親族への優先提供は行われない。

臓器提供意思表示カードをお持ちの方へ

臓器提供意思表示カードをお持ちで、カードの中に眼球提供の意思表示をされている方は、アイバン

クの登録がない場合でも献眼されることが出来ます。

アイバンクに登録するには

アイバンクの登録は、下の申込書に必要事項を御記入いただき、近親者の同意を得て、ご返送いただければ手続き終了です。その後、お手元に登録カード（眼球提供登録票）をお送りいたします

ので、なるべく携帯してください。
なお、個人情報保護のため、シールを貼り付けてからご投函ください。

✂ キリトリ線

眼球提供申込書

登録
番号

(財)福島県臓器移植推進財団理事長 年 月 日

●私は視力障がい者の視力回復に役立てるために、死後眼球を提供することを承諾します。

提供者	郵便番号	〒	-	電話	()	
	住所					
	フリガナ 氏名・捺印				男・女	
	生年月日	大・昭・平	年	月	日	
親族優先提供を希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/>						
■私は提供者の意志を尊重し、提供者の死後ただちに福島県アイバンクに連絡します。						
連絡者	郵便番号	〒	-	電話	()	
	住所					
	フリガナ 氏名・捺印				提供者との続柄	
ライオンズ クラブの方へ	ライオンズクラブ名	ライオンズクラブへのアイバンク登録の通知に 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない <input type="checkbox"/>				

✂ キリトリ線

【お問い合わせ先】

〒960-8670
福島市杉妻町2-16
福島県保健福祉部
地域医療課内
財団法人
福島県臓器移植推進財団

TEL 024-521-9027
(直通)

※お預かりした個人情報は適切に管理し、本業務以外の目的には使用いたしません。

アイバンクに登録を



愛の光のプレゼント

財団法人 福島県臓器移植推進財団

〒960-8670
福島市杉妻町2番16号
福島県保健福祉部地域医療課内
TEL 024(521)9027

目の見えない人びと

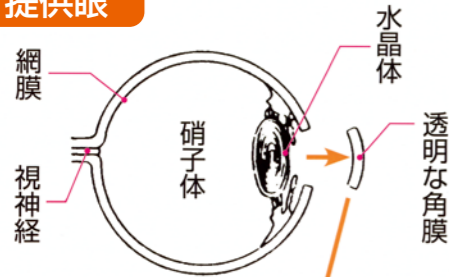
失明は人生にとって悲しい出来事の1つです。そのため空の広さ、海の青さ、花の美しさを見ることが出来なくなってしまいます。

現在、角膜疾患による視覚障がい者は、全国で1万9千人（平成18年厚生労働省身体障がい者実態調査）おります。また、身体障がい者の認定を受けていない人の中にも、角膜移植によって視

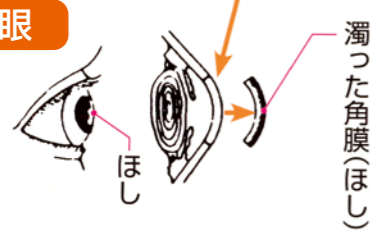
覚を回復する方々が多くいらっしゃいます。

角膜移植手術によってこれらの人たちに光をプレゼントする斡旋組織として、アイバンクが生まれたのです。年齢の制限はございません。どなたでも登録できます。みなさんの御協力により目の不自由な人たちに暖かい手を差し伸べてください。

提供眼

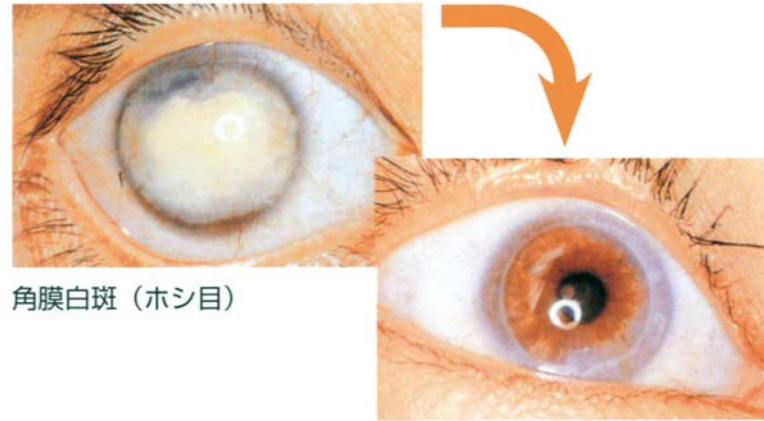


患眼



角膜移植手術

濁った角膜を切り抜いて透明な角膜と取りかえます。



角膜移植とは

これらの人たちが視力を取り戻すためには、透明な人間の角膜が必要です。

角膜は、黒目の表面を被っている透明な膜で、これを通して光が網膜に達し初めて物が見えるの

です。しかし病気やケガで角膜が白く濁ると見えなくなるのです。

濁った角膜を透明な角膜と取りかえる手術を角膜移植といいます。

角膜移植の効果

すべての視力障がい者が、この手術によって視力を回復できるわけではありません。網膜や視神経の病気で失明した人は残念ながら適応外です。

角膜が濁ったり変形したため見えにくくなった人のみが適応になります。

死後あまり時間の経たないうち（6時間から

10時間以内）に眼球（角膜）摘出を行い、移植適否についての医学的検査後、特殊な保存液内に保存し手術を行います。手術の成功率は90%以上ですが、術後の拒絶反応に対する十分な治療が必要です。今後も技術と治療薬の進歩によって成功率は更に向上すると思われます。

移植に使う角膜

移植に使う透明な角膜は、亡くなられた人の眼球から得られます。角膜さえ透明であれば、近視や乱視でも、また「白内障・緑内障」のある目でも、角膜移植に使えます。

ただ伝染の恐れのある病気で亡くなられた場合（HIV・B型肝炎・C型肝炎・敗血症・白血病等）や、変死の場合は使えないこともあります。

手術を待っている多くの人たち

平成23年3月末現在、全国のアイバンクへの登録者総数は146万人を超え67,474眼のご提供をいただき角膜移植手術が行われました。このようにアイバンクは全国各地で懸命に活動しているのですが、全国で、今すぐに手術を受けなければならないと診断され角膜移植を申し込んで順番を待っている患者さんは、全国のアイバンク調べでは、平成24年3月末で2,365人もおり、平成23年度1年間に提供された眼球数（1,895眼）

と比べ、約1.25倍も多いのです。これは今、角膜移植を受けたいと申し込んでも実際に角膜移植が受けられるのは2年近く先ということの意味し、待っている間に時期を失って手遅れになる症例も少なくありません。待ち時間を1年以内にするためには、少なくとも今の倍の献眼登録者が必要で、アイバンクでは1人でも多くの人たちから献眼していただけるよう、皆様の献眼登録をお待ちしております。

献眼時の手順について

登録していた方に万一ご不幸があった場合は、眼球提供連絡依頼票（近親連絡者保管用）に記載されています「献眼時の緊急連絡先」へご連絡いただきますと、医師が派遣され、眼球（角膜）の摘出が行われます。（角膜移植を成功させるためには、早めのご連絡が必要です。摘出までの時間は、死後6時間以内が理想です。また、医師が到着するまでは、目を閉じさせ乾燥を防いでください。）提供いただいたと同時に義眼をいれますので、提供後に表情が変わってしまうことはありません。いただいた眼球は、ただちにアイバ

ンクの斡旋により、角膜移植を待っておられる病院へ送られます。そして手術が行われ、提供くださった善意の角膜は、視力を回復した方の目となって、いつまでも生き続けることとなります。しかし、せっかく登録されていても、亡くなられた時にアイバンクに連絡がいただけないとご本人の善意の心が生きないこととなります。そのため、アイバンクでは登録されるご本人だけでなく、ご家庭の方、身近においでの方にも是非ご理解いただきたいと考えております。



このパンフレットはメディアユニバーサルデザインの考え方で作られています。

郵便ハガキ

〒960-8670 福島市杉妻町二番十六号
福島県保健福祉部地域医療課内
県庁内郵便局私書箱一号
財団法人
福島県臓器移植推進財団
行

料金受取人私郵便
福島支店承認
187
差出有効期間
平成26年
9月30日まで
(切手を貼らずに
この票をご投函
ください。)



視力障がい者に光を与えるため、このハガキでご協力を
をお願いします。
ライオンズクラブ会員の方は、一番下の欄にクラブ名
を記載してください。